



Press Release

2018年5月11日

北海道公立大学法人 札幌医科大学

日本イーライリリー株式会社

札幌医科大学と米国イーライリリー・アンド・カンパニー 新規腫瘍特異的変異抗原(新規ネオアンチゲン)の探索に関する共同研究契約を締結

2018年5月1日、イーライリリー・アンド・カンパニー(本社:米国インディアナポリス。以下、米国リリー社)は、北海道公立大学法人 札幌医科大学(所在地:北海道札幌市。以下札幌医科大学)と、がん免疫療法における新しいアプローチとして新規腫瘍特異的変異抗原の探索に関する共同研究契約を締結いたしました。この契約により、今後両者はがんに対する画期的ながん抗原を共同して探索し、米国リリー社は札幌医科大学の経験やノウハウを活用することで、新規治療薬の研究開発へと繋げて行きます。

この共同研究契約は、米国リリー社が昨年開催した創薬共同研究のマッチングイベント第2回「イノベーション・ディ・ジャパン」の成果の一つです。

『研究開発こそ企業の魂である』という創業以来の理念を受け継ぎ、米国リリー社は、1876年の創業当時からイノベーションを志向し、社外の研究機関や大学などと協力して創薬を目指すオープン・イノベーションを実践してきました。現在、日本国内においても、日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:パトリック・ジョンソン。以下、日本イーライリリー)が日本のアカデミアと連携して早期探索や橋渡し研究の共同研究を始めています。中期的な事業目標として、日本国内での(他社との提携を含めた)研究開発に注力し、体制を整えたうえで、2020年までに日本発の創薬シーズの世界同時開発に着手することを目指しています。

今回の共同研究では、現在、世界的ながん治療に大きく貢献しつつあるがん免疫療法とのシナジーを生み出すべく、新しい治療ターゲットを探索します。がん抗原探索について独自の研究ノウハウや経験を持つ日本の大学との協力により、世界が求める画期的ながんの新規治療薬を早期に開発していくことを目指しています。

札幌医科大学 病理学第一講座 講師であり、今回の共同研究責任者である金関 貴幸(かなせき たかゆき)先生は次のように述べています。「患者のがん退縮における変異抗原(ネオアンチゲン)の重要性が明らかとなってきました。米国リリー社との共同研究では、我々がこれまでに確立した解析技術を生かし、大腸がんを標的とした新しいがん免疫治療戦略の早期具現化を目指したいと考えています。」尚、今回の研究にも活用されている金関先生らの解析技術は、平成29年度北海道科学技術奨励賞にも選出されています。

米国リリー社 オンコロジー領域の開発・メディカル部門担当バイスプレジデントであり、同社のニューヨーク研究所のシニア・バイスプレジデントでもあるグレッグ・プラウマン医学博士は、今回の契約締結にあたり、次のように述べています。「今回の共同研究は、日本で開催したイノベーション・デイの成果のひとつであり、金関先生のご研究は弊社におけるがん研究の方向性と一致しております。この取り組みの結果によって世界のがん患者の皆様へ新しい治療法をお届けできることを期待しております。」と述べました。

日本イーライリリー研究開発本部 本部長の吉川彰一は「本提携を通じて、日本のがん専門研究者と弊社米国研究者が手を取り合い、シナジーが生み出された結果として、日本発の革新的医薬品が日本のがん患者さん、ひいては世界のがん患者さんのアンメットメディカルニーズにお応えできることを期待しています。」と述べています。

「イノベーション・ディ・ジャパン」について

米国リリー社は、医薬品開発における日本発の革新的なシーズ獲得をめざし、日本国内に焦点を当てた創薬共同研究のマッチングイベント「イノベーション・ディ・ジャパン」を2015年から3年続けて開催しています。重点領域である、がん、糖尿病、アルツハイマー型認知症、自己免疫疾患、疼痛、さらにデバイスや革新的技術をターゲットとして、創薬シーズや技術を募集し、「ファースト・イン・クラスになり得ること」を応募の基本的条件としました。社内でマッチング結果を取りまとめ、最終選考に残った研究機関と共同研究契約の締結に向けて協議してきました。

北海道公立大学法人 札幌医科大学について

北海道公立大学法人札幌医科大学は、1950年に北海道立札幌医科大学として開学し、半世紀以上の長期間にわたって、人間性豊かな多くの医療人を育成するとともに、北海道の保健・医療・福祉の向上に大きく貢献してきました。2007年4月に北海道公立大学法人札幌医科大学として新たに出発し、現在、医学部、保健医療学部の2学部4学科からなる医科系総合大学として、「人間性豊かな医療人の育成に努めること」、「道民の皆様に対する医療サービスの向上に邁進すること」そして、「国際的・先進的な研究を進めること」の3つの基本理念の下、教育・研究・診療の充実と地域医療への貢献に努めています。

イーライリリー・アンド・カンパニーについて

イーライリリー社は、世界中の人々の生活をより良いものにするためにケアと創薬を結び付けるヘルスケアにおける世界的なリーダーです。イーライリリー社は、1世紀以上前に、真のニーズを満たす高品質の医薬品を創造することに全力を尽くした1人の男性によって設立され、今日でもすべての業務においてその使命に忠実であり続けています。世界中で、イーライリリー社の従業員は、それを必要とする人々の人生を変えるような医薬品を開発し届けるため、病気についての理解と管理を向上させるため、そして慈善活動とボランティア活動を通じて地域社会に利益を還元するために働いています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 www.lilly.com および <http://newsroom.lilly.com/social-channels>

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 <http://www.lilly.co.jp>